

全老連

3

2019

特集

市区町村老連、単位クラブにおける
会員増強運動の実施状況 ~アンケート集計結果から

各地の活動から



古民家の 公民館で ひな祭り

なごみまち
熊本県和水町
馬場老人クラブ

国宝に指定された江田船山古墳があり、今放映中のドラマ「いだてん」の主人公で日本マラソンの父、かなくりしそ金栗四三の生地でもある和水町。この町の馬場区は、明治初期の豪商の古民家を改修して公民館としています。ひな祭りの季節になるとここに二千体にもなる膨大なひな人形を展示します。不要になった人形を収集したもので、古色を帯びた江戸びなを始め、明治大正昭和と時代の変遷も感じられる壮大なものです。

区の老人クラブ女性部の主催で2月10日から3月10日までの一か月間、多くの観光客を集める県北部の名物ひな祭りとして発展しています。

市区町村老連、単位クラブにおける 会員増強運動の実施状況

アンケート集計結果から

全老連では、昨年8月から11月にかけて、一部の市区町村老連、単位老人クラブの協力を得て、会員増強運動の実施状況に関するアンケートを実施しました。ここに概略を報告いたします。

なお、調査結果は市区町村老連へお送りしますので、詳細はその冊子にてご確認ください。

※MAは、複数回答

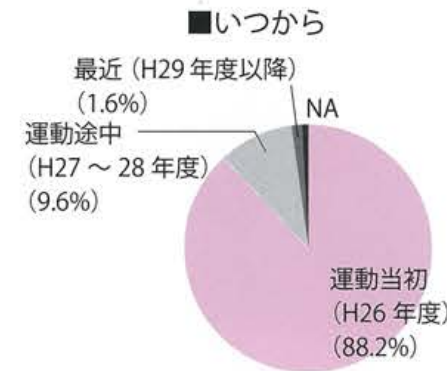
市区町村老連

全国3分の1の市区町村老連（611）を無作為に抽出して実施。

回答365老連（回収率60%）

① 運動を知ったのは、「運動当初26年度から」「都道府県・指定都市老連を通して」「通知文書で知った」老連が多い

問1 「会員増強運動」の情報を、いつ・どこから・どのように知りましたか。（N=365）



■どこから知ったか (N=365)



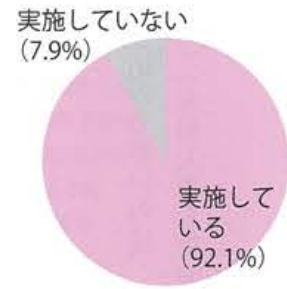
■どのように知ったか (N=365)



② 運動は9割の老連で「実施している」

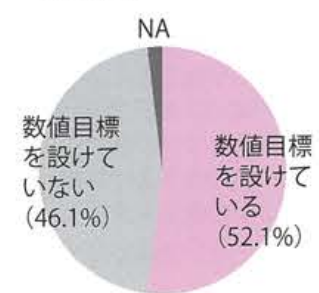
なお、未実施の主な理由は、「クラブにまかせている」「年齢で全員加入」「会員増強は活発な活動の結果」等

問2 「会員増強運動」を実施していますか。（N=365）



○「数値目標の設定」は、52%の老連で実施

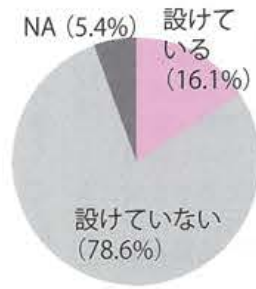
問4 「会員増強運動」の数値目標を設けていますか。（N=336）



③ 運動の推進

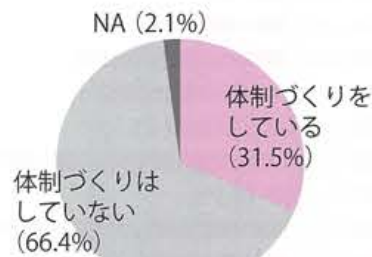
○全国共通実施運動（勧誘、クラブのPR、クラブ新設）以外の「独自の運動項目」の設定は、16%の老連で実施
主な内容は、「未加入者も参加できる活動」「解散クラブ防止」「地区老連活性化」等

問3 全国共通実施運動以外、独自に「会員増強運動」の実施計画を設けていますか。（N=336）

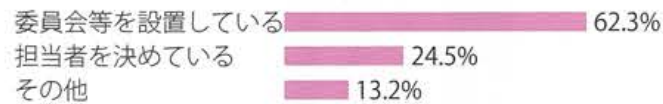


○「体制づくり」は、32%の老連で実施

問5 「会員増強運動」を推進するための体制づくりをしていますか。（N=336）



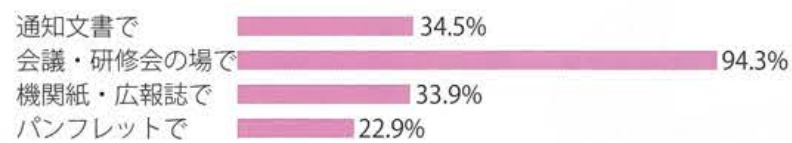
■体制づくりの内容 (N=106)



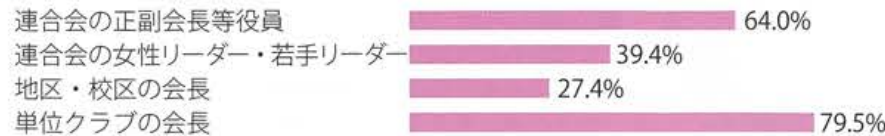
④ 単位クラブへの周知、取り組み状況把握

○周知方法では、「会議・研修会」94%、次いで「通知文書」「広報誌」「会議・研修会」の対象者は、「クラブ会長」「老連役員」が多い

問6 「会員増強運動」について、単位老人クラブに対しどのような方法で周知に努めましたか。（MA）(N=311)

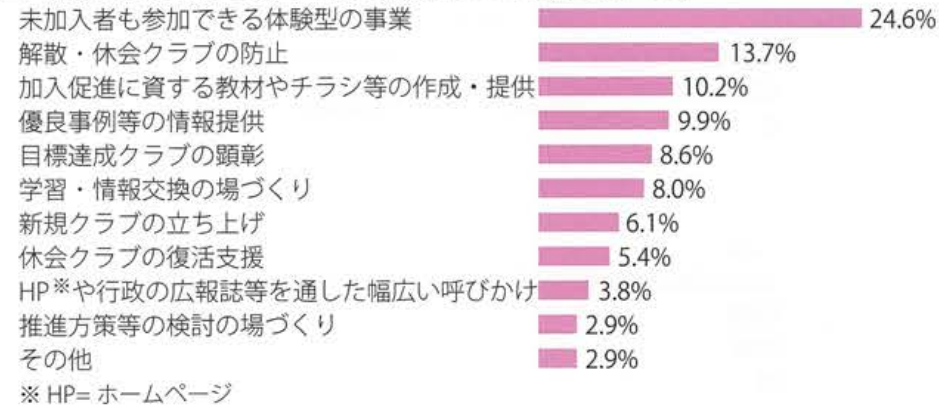


■「会議・研修会」の対象者 (MA) (N=317)



問11 「会員増強運動」に取り組んでみて、最も効果のある方法は何だと思いますか。(N=311)

■当該連合会の取り組みで最も効果のある方法 (N=313)



8 市区町村老連の取り組みで最も効果のある方法は、「未加入者も参加できる体験型の事業」

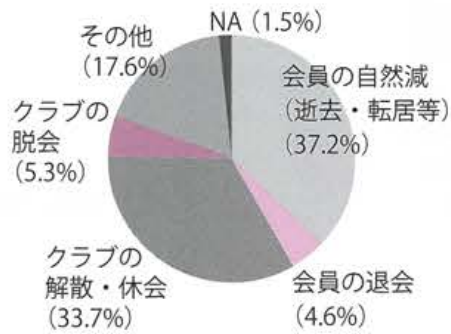
単位クラブ

運動実績が全国平均に近い10都道府県・指定都市老連を選択し、各老連内における平均的な実績をあげている市区町村老連を選択していただき、その市区町村老連内すべての老人クラブを対象に実施(997クラブ)。

回答805クラブ(回収率81%)

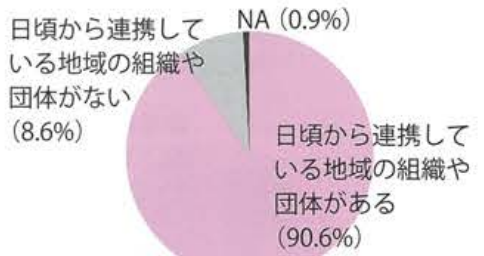
1 会員増強運動を「知っていた」のは9割
2 今回の運動に関わらず、日頃から加入の呼びかけを「している」のは9割

問12 会員減少の最も大きな要因は何だと思いますか。(N=323)



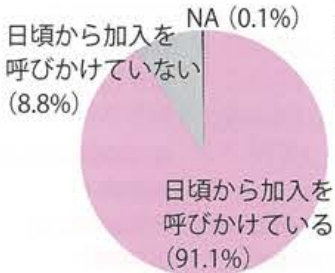
9 会員減少の最も大きな要因は、「会員要因」と「クラブ要因」に二分された。その他の主な回答は、「新規加入が少ない」「仕事をしている」「価値観の多様化」等

問3 今回の運動にかかわらず、日頃から連携している地域の組織や団体がありますか。(N=805)



3 日頃から連携している地域団体等が「ある」が9割

問2 今回の運動にかかわらず、日頃から加入の呼びかけを行っていますか。(N=805)

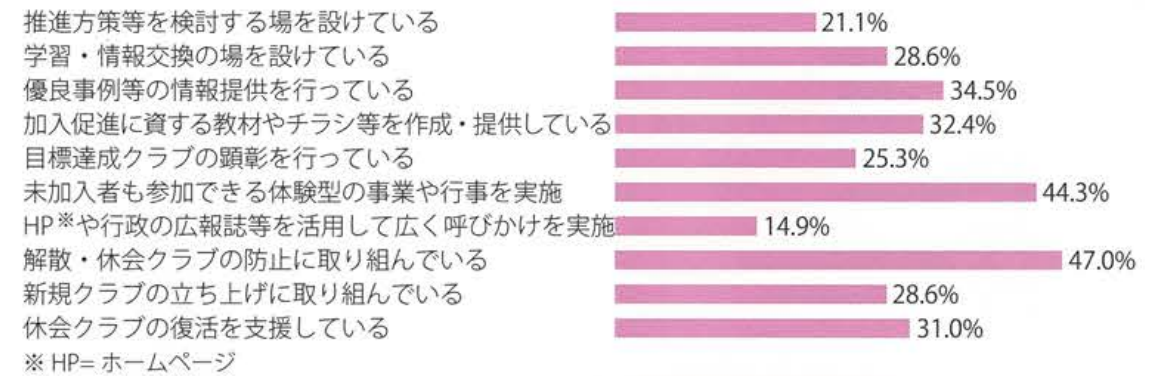


問1 「会員増強運動」が全国的に展開されていることをご存知でしたか。(N=805)

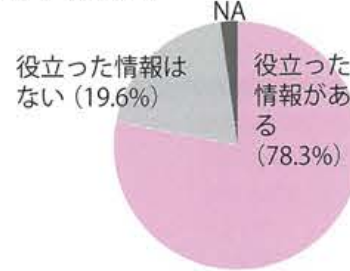


3 日頃から連携している地域団体等が「ある」が9割

問8 具体的にどのように「会員増強運動」に取り組んでいますか。(MA) (N=336)

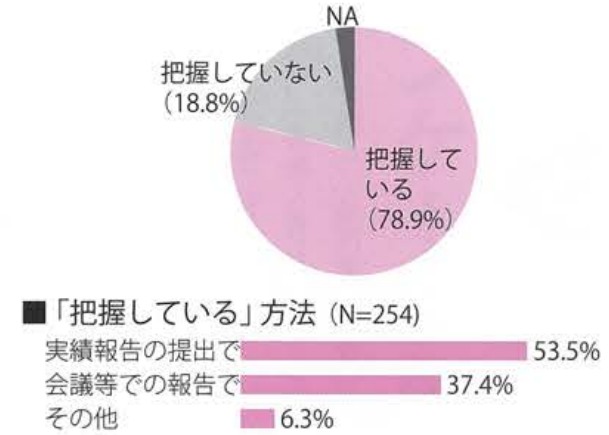


問10 「会員増強運動」をすすめる上で、役立った情報はありますか。(N=336)



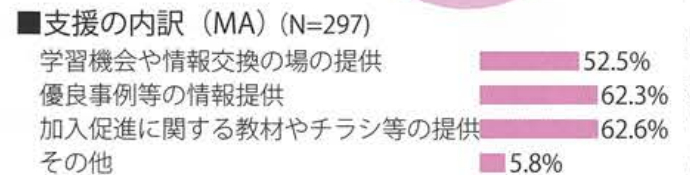
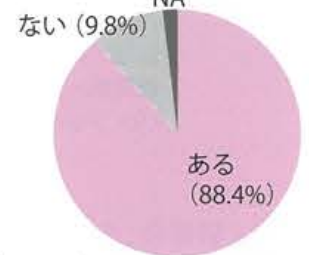
7 役立った情報は「ある」が8割弱

問7 単位老人クラブにおける「会員増強運動」の取り組み状況について把握していますか。(N=336)



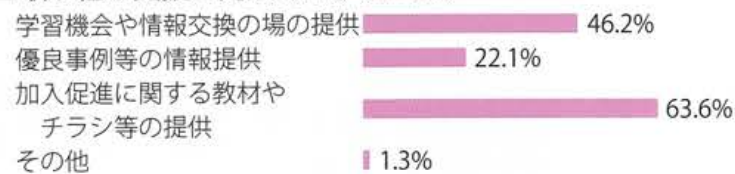
○取り組み状況は「把握している」79%。方法は「実績報告提出」頻度は「1回」67%が多く、「2回」14%、「3回以上」17%、「12回」5%含む

問9 「会員増強運動」に関して、都道府県・指定都市老人クラブ連合会から取り組み支援がありますか。(N=336)



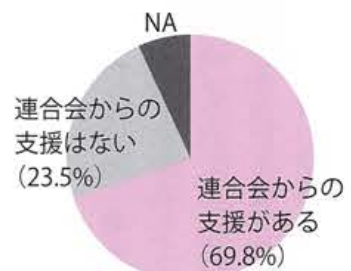
6 都道府県・指定都市老連からの支援は「ある」が9割弱

■取り組み支援の内訳 (MA) (N=463)



※所属連合会からの「取り組み支援がある」クラブが母数。

問9 「会員増強運動」に関して、所属する市区町村老連から取り組み支援がありますか。(N=660)



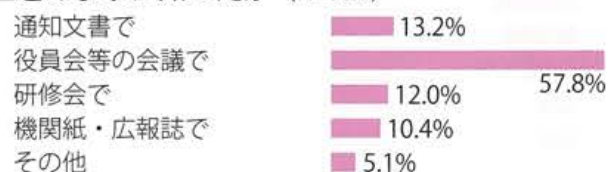
7割 市区町村老連からの支援は、「ある」が

問4 「会員増強運動」の情報を、いつ・どこから・どのように知りましたか。

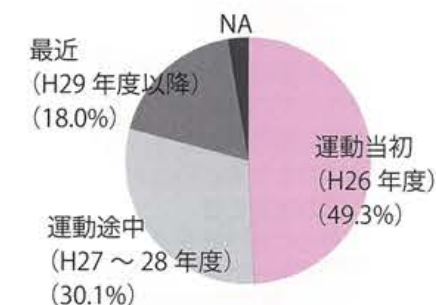
■どこから知ったか (N=722)



■どのように知ったか (N=722)

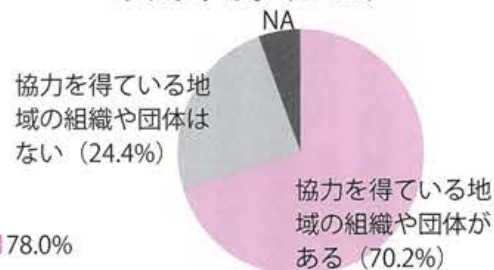


■いつから (N=722)



4割 運動を知ったのは「運動当初26年度」「市区町村老連から」「役員会等会議で」が約5

問10 「会員増強運動」に協力を得ている地域の組織や団体がありますか。(N=660)



8割 協力を得ている地域の組織や団体は、「ある」が7割

■地域の組織や団体の内訳 (MA) (N=463)



問6 全国共通実施運動以外、独自に「会員増強運動」の実施計画を設けていますか。(N=660)



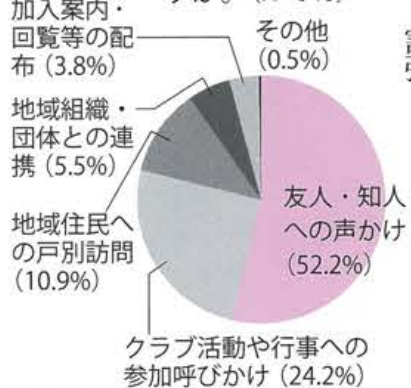
6 運動の推進 ○「独自の運動項目の設定」は、10%のクラブで実施
主な内容は、「自治会や行政・社協との連携」「活動・イベントを通じた勧誘」等

問5 「会員増強運動」に取り組んでいますか。(N=660) (※運動を知っているクラブの回答)



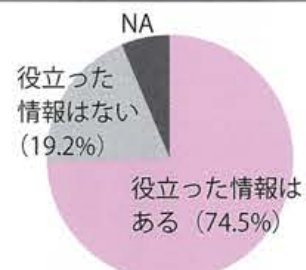
5 運動に「取り組んでいる」クラブは91%

問12 「会員増強運動」について、最も効果のある方法は何だと思いますか。(N=640)



10 最も効果のある方法は、「友人・知人への声かけ」が5割強

問11 「会員増強運動」をすすめる上で、役立つ情報はありますか。(N=660)



9 役立つ情報は「ある」が75%
情報の入手先は、「市区町村老連」5割弱
「地区老連」4割

■情報の入手先 (N=480)



■情報の内容 (N=483)



問8 誰が・誰を対象に・どのような方法で「会員増強運動」に取り組んでいますか。

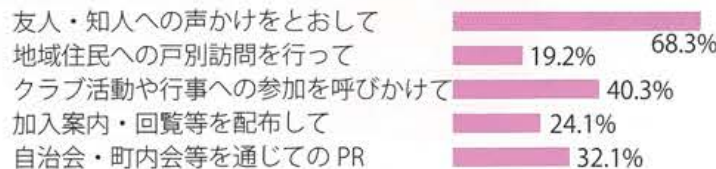
■誰が (N=657)



■誰を対象に (N=660)



■どのような方法で (MA) (N=660)



○運動は「会長や役員を中心に」「65歳以上に対して」「友人・知人への声かけ」により取り組んでいるクラブが多い

問7 「会員増強運動」の数値目標を設けていますか。(N=660)



○「数値目標の設定」は、20%のクラブで実施



クラブの新設・解散、 会員加入に向けた対応

神奈川県 茅ヶ崎市老人クラブ連合会

- クラブ数 95クラブ
- 会員数 4337名 (男性1751名、女性2586名)



神奈川県
茅ヶ崎市

本市でも高齢化が進むなか、地域の中で老人クラブが果たす役割も増加しつつあります。連合会及び単位クラブの組織強化に向けて、「加入促進担当委員会」と執行部で会員増強に取り組んでいます。

「加入促進担当委員会」は、全国の「老人クラブ100万人会員増強運動」に呼応して立ちあげました。委員会構成メンバーは12地区代表及び役員で、開催は2か月に1度、内容は「各地区情報交換」「各委員の問題意識の共有」「クラブ新設・解散情報の早期収集」「クラブ空白地区一覧の作成」等です。

会員数減少の分析

会員数、クラブ数がピークであった平成6年から現在までの分析を行うと、会員数減の約半分はクラブ解散によるもので、残りの半分がクラブ会員数の減、平均して1年に1クラブ減、各クラブ1名の減でした。このことから会員増強運動は、「クラブ新設・解散」と「新規会員加入」の二つに大きく分けることができます。

会を認めており、市の補助金はありませんが、連合会の行事や活動に参加することができます。現在、該当するクラブはありません。

新規会員加入に向けた対応

- 1 各クラブは、クラブ活動の内容を充実させ、常に明るく楽しいクラブ活動を目指します。
- 2 クラブへの勧誘は、回覧等よりも「マンツーマン」による声かけ2度3度が一番効果的です。
- 3 クラブ会員の単純な増減でなく、「新規加入増加」に注力して「評価」します。退会者はクラブ会員の高齢化もあって「自然減」がほとんどで、これを止めることはできません。
- 4 50人減でも、調べると100人新規加入150人退会の場合、100人新規加入を「評価」します。
- 5 老人クラブの幹部は高齢化並びに長期化する傾向がありますが、幹部の若返りは若い会員の獲得に効果があります。
- 6 老人クラブの名称、連合会の名称を、老人臭さの無いものに検討することを、今後の課題とします。



運動会



1月定例会、新年顔合わせ会

クラブの新設・解散に向けた対応

- 1 クラブの解散
クラブ解散の主な原因は、会長の担い手が無いこと。現会長は常に後継者の育成に心がけるべきです。解散及び解散の雰囲気のあるクラブの情報をつかんだら、連合会は直ちに行動を起こす。当該自治会長、地区有力者、民生委員等関係者と会談して、クラブの存続についてアドバイス、助言、方向性を提示し



子どもとの世代交流会

当連合会は今回幸いにも3クラブ新規加入となりましたが、実は加入に成功しなかったクラブが多数存在していました。これからも、粘り強く継続して運動を続けていきます。

「加入促進」の取り組み方法については、本誌月刊「全老連」にかなり具体的に事例が紹介されており、その中から自分たちに適した方法を見つけて採用し、自分たち流に計画を作り、粘り強く継続していくことであり、「特別なもの」は無いと思います。

(会長 柏崎 周二)



会員もクラブも輝く 魅力ある老人クラブ

兵庫県 加西市老人クラブ連合会

●クラブ数 130クラブ

●会員数 11549名(男性5187名、女性6362名)



兵庫県
加西市

兵庫県の中央部に位置する加西市は、自然豊かな景観に恵まれ、400基にのぼる古墳群、素朴な五百羅漢、希少な動植物が生息するあびき湿原、県立フラワーセンターがある人口4万4千人余の田園文化都市です。高齢化率は約32%です。また、老人クラブへの加入率が61%と比較的高いのが特徴です。

音楽や芝居を高齢者が堪能

市老連では、会員増強に向けて、魅力ある事業の推進、情報発信力の強化、若手・女性の活躍の場の拡大等に努めています。本稿では、老人クラブの魅力を進進して、未加入者が思わず参加したくなるような新たなニーズに対応する事業の一端を紹介いたします。

市と市老連は、敬老月間に合わせて毎年「ふるさと芸能大会」を開催しています。計8日の日程で、約三千人が鼓笛演奏、演舞、落語、芝居、バザーを楽しみます。企画から運営、バスの送迎に至るまで全て役員が行います。開催中、近隣住民から「参加できないか」と問い合わせが多々あるほどの事業です。また



みんなが楽しむ芸能大会

将棋の相手は高齢者

市老連では、高齢者が知識や経験、技能等を予め「人材バンク」に登録して、それを必要とする地域社会とつなぐことで高齢者の社会参加を促進する事業を推進しています。「人材バンク」には有償、無償メニューが多々

あり、市民誰でもがスキルの向上や研修等に活用できるようになっています。

写真は、藤井聡太七段の人気で受講生が増えた将棋の対戦相手になっている高齢者です。子どもたちはベテランから指導を受けることができ、高齢者はやりがいを感じています。

インスタで魅力発信

市老連では、高齢者の情報発信力の強化に向けて、サポート委員(会員熟達者)によるパソコン教室、民間連携でのスマホ教室、ス



インスタ教室の様子

マホ活用「インスタ教室」を開いています。「インスタ教室」では、受講生は教室でアプリの操作を学習した後、野外実習に移ります。野外では、対象となる石仏群「五百羅漢」をそれぞれの視点からスマートフォンで撮影し、投稿しました。

※インスタとはインスタグラムの略称で、スマートフォンアプリ(ソフト)及びそれを用いたサービスのこと。写真の共有や投稿ができる。

スマホで不明者搜索

市と市老連、区長会は、行方不明になった認知症高齢者の早期発見につなげようと、スマートフォン

を使った地域ぐるみの実証実験を市内中心部で行いました。小型発信器を身につけた行方不明者役を、スマホに専用アプリを入れたクラブ会員ら約120人が捜



スマホで搜索



子どもと将棋教室

索し、効果を確証しました。市老連が中心となって構築した「見守り・SOSネットワーク」に加え、このシステムが稼働すれば、行方不明者の早期発見が可能になるものと期待しています。

加入促進に近道はなく、日々の努力の中でのみ光明は射します。

市老連は、その使命を自覚するとともに、今後も会員の瞳が輝く魅力ある老人クラブづくりに全力を傾注して参りたいと存じます。

(会長 吉田 廣)



地域支え合いに参画しよう！ 第24回「在宅福祉を支える友愛活動セミナー」 開催

1月30、31日の二日間、全国から110名が参加して、「在宅福祉を支える友愛活動セミナー」を開催しました。(会場：東京都全国社会福祉協議会会議室)

「新地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)」をはじめ、住民による「地域支え合い」の取り組みが広がる中、セミナーでは、老人クラブがどのように参画していくかということについて、研究、協議しました。

内容は、全老連基調報告、厚生労働省老健局振興課による行政説明、事例発表、分散会(情報交換)、そして、東京ボランティア市民活動センター所長で神奈川県立保健福祉大学顧問の山崎美貴子氏による講演を行いました。ここでは事例発表を中心に報告します。

〈多様な生活支援〉住民同士の支え合い～ほのぼのサービス「おたがいさま」の取り組み／京都府笠置町老連

日常生活の中のちょっとした困りごとに対応するしくみを社会福祉協議会と協同して立ち上げ、町の「新地域支援事業」にも位置付けられて平成27年10月にスタート。現在、協力会員28名の内20名が老人クラブ会員。家の周りの清掃や簡単な家事援助等を1時間800円で行っています。



分散会の様子

〈多様な集いの場〉居場所・たまり場づくりの推進／横浜市都筑区老連

全てのクラブでのサロン活動の開催を呼びかけ、ほぼ全クラブで開催。取り組みにあたり、地区ごとに地域で行われている全てのサロンの名称、会場、開催日時、主催団体、主な内容を記載したマップを作成。

〈友愛訪問活動〉地域のつながりを再確認した災害公営住宅の友愛訪問活動／岩手県陸前高田市老連

平成27、28年度、東日本大震災の被災者向けの災害公営住宅に住む高齢者を対象に、近隣クラブによる友愛訪問活動を展開。高齢者の情報がない中、市長と市老連会長連名のチラシを持参して全戸を訪問、多くの人に喜ばれました。活動を通じて、地域における多様なつながりの大切さを実感して、友愛活動に取り組むクラブが増えました。

全国の仲間は 9万9千クラブ、549万人

全老連加盟 63 都道府県・指定都市老連別 クラブ数・会員数一覧(平成30年3月末日現在)

	クラブ数	会員数	クラブ数	会員数	
全国合計	98,592	5,488,258	滋賀県	1,356	86,187
北海道	3,448	149,598	京都府	1,287	62,291
札幌市	450	26,509	京都市	1,031	55,542
青森県	1,508	47,470	大阪府	3,698	249,149
岩手県	1,740	70,268	大阪市	779	52,723
宮城県	1,155	43,001	堺市	480	44,995
仙台市	440	19,972	兵庫県	4,488	268,878
秋田県	1,632	62,371	神戸市	470	35,302
山形県	1,111	46,121	奈良県	1,654	92,790
福島県	1,771	88,725	和歌山県	1,592	77,597
茨城県	2,350	104,603	鳥取県	743	35,604
栃木県	1,614	65,588	島根県	1,007	48,817
群馬県	1,810	114,393	岡山県	2,045	111,890
埼玉県	3,009	165,207	岡山市	568	33,079
千葉県	2,752	117,803	広島県	1,891	95,545
千葉市	265	13,360	広島市	573	39,528
東京都	3,638	279,603	山口県	1,379	51,144
神奈川県	1,750	94,888	徳島県	772	36,990
横浜市	1,670	114,872	香川県	1,298	68,932
川崎市	462	23,887	愛媛県	1,560	82,158
新潟県	1,861	94,016	高知県	750	27,912
新潟市	489	29,897	福岡県	2,865	159,527
富山県	1,955	157,372	北九州市	914	38,471
石川県	1,403	105,631	福岡市	814	37,776
福井県	1,071	56,346	佐賀県	1,146	64,648
山梨県	1,138	59,834	長崎県	1,769	93,402
長野県	1,728	106,579	熊本県	2,389	119,112
岐阜県	2,474	171,050	大分県	1,560	67,244
静岡県	1,764	95,136	宮崎県	1,061	42,849
静岡市	405	17,161	鹿児島県	2,028	99,303
愛知県	4,065	312,554	沖縄県	694	55,555
名古屋市	1,361	62,468			
三重県	1,642	137,035			

厚生労働省「福祉行政報告例」より

老人クラブの保険はクラブ活動を支えています

①傷害保険 24時間型 (掛金 3タイプ)
お一人掛金年額 10,000円、5,000円、3,500円

②傷害保険 活動型 (掛金 3タイプ)
お一人掛金年額 2,000円、1,000円、500円

自分がケガをした時の保険です。(病期および他人に与えたケガは対象外です。)

対象: 老人クラブ会員に限ります。年齢制限はなく、いつでも加入できます。(1人1口加入)
ただし、加入手続きは所属老人クラブの保険担当者が取りまとめる団体傷害保険です。

補償内容: 死亡・後遺障害保険金 (後遺障害保険金はクラブ活動中のみ) / 入院保険金 / 手術保険金 / 通院保険金

保険期間: 掛金払込み日の翌月1日から1年間

のご案内は、老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険、普通傷害保険についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。この他に他人の物を壊したり、ケガをさせた時の賠償責任保険もあります。

資料請求は、全国老人クラブ連合会の資料請求専用 FAX (03-3597-8767) までどうぞ。

取扱代理店 シニアサービス社 TEL 03-3597-8769

引受保険会社 東京海上日動火災保険(株) 担当課: 医療福祉法人部 法人第二課 TEL 03-3515-4144

2018年4月作成 (17-TC01148)

2020年、
さすが JAPAN!
って言われたいよね。

私たちはすべての挑戦を応援します。
To Be a Good Company
東京海上日動
東京都千代田区丸の内1-2-1 TEL 100-8050

TOKYO 2020 TOKIO MARINE NICHIDO TOKYO 2020
東京2020 ゴールドパートナー (損害保険)

SOMPO
ホールディングス 保険の先へ、挑む。
損保ジャパン日本興亜

保険の先へ、挑む。

損保ジャパン日本興亜は SOMPO ホールディングスの一員です。
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
〒160-8338 東京都新宿区西新宿 1-26-1
Tel.03(3349)3111 http://www.sjnk.co.jp

立ちどまらない保険。
MS&AD
三井住友海上

三井住友海上火災保険株式会社
お客様デスク TEL: 0120-632-277
http://www.ms-ins.com

私のクラブの「オリジナル」

会員手作りの「お休みベンチ」

横浜市磯子区 西町第一寿和会



休憩用のベンチ設置は長年の懸案事項でした。最近皆の要望が強くなり、西町地区内で設置できる場所を調査した所、小学校の正門脇に設置できることになり、取りあえず設置して利用状況を確認することにしました。

買い物帰り、散歩の方々の通り道となる関係もあり、利用頻度が高いことが確認できました。そこで更に交差点そばの軒下、歩道橋の階段下にも設置しました。

利用された方からは、体調を整えるのに大変良かったとの声が出ております。

みんなのひろば

芝原元気クラブ「青年部」発足

福井県永平寺町
芝原元気クラブ

人生100歳時代を迎える今日、健康寿命を延ばすためにも老人クラブ活動の重要性はますます高まっています。しかしながら会員数は年々減少。その最も大きな理由は、新規加入率の低さにあり、その結果、組織自体が高齢化して継続が困難になるといった、ある種の悪循環を生み出しているのが現状です。また老人という言葉の語感にはまだ早すぎる」という考えの傾向が極めて高い状況です。



しかし高齢化が進む中で、老人クラブの存在は、地域コミュニティを維持するうえで重要なコミュニケーションであることは疑いありません。60歳と80歳では親子ほど世代差があるわけで、今までのやり方に一定の見直しが必要なのも事実です。そのような考えのもと、新規会員を増やし、世代間の助け合いを進めるため、クラブの中に「青年部」を結成して、活動内容を必要に応じて世代別に分けることで加入に抵抗を無くし、元気な高齢者が支援を必要としている高齢者を助ける「地域支えあい」を通じて、老人クラブの果たすべき役割をしっかりと果たしていきたいと考えています。

昨年の「7月豪雨災害」に対して、 老人クラブ関係者から1億6066万3100円募金されました

各地に被害を及ぼした豪雨災害に対して、全老連では都道府県・指定都市老連を通して募金協力依頼をしました。その際、被災された岡山県老連、広島県老連では全国に募金を呼びかけ、京都府老連、岡山市老連、愛媛県老連、福岡県老連では府県市内の募金を実施しました。

その結果、全国の老人クラブで上記の金額が集められ、支援されましたのでご報告いたします。寄託先は、前出の府県市老連をはじめ共同募金会、社会福祉協議会、日赤、行政などと報告されています。

なお、豪雨災害の2か月後に発生した北海道胆振東部地震災害に対しては、北海道老連において道内募金を実施され、他に募金を実施した県老連もありました。

【9月北海道胆振東部地震】 老人クラブ関係募金額 831万266円

ご協力、ありがとうございました

本誌・月刊「全老連」は、 4月号から「全老連ホームページ」に掲載いたします

このたび、月刊「全老連」をより幅広い関係者にご覧いただくため、来月号以降、全老連のホームページ上に掲載することにいたしました。

これまでは都道府県・指定都市老連、市区町村老連、関係者への配布と共に、希望者には有償にて購読いただいております。購読者にはすでに連絡しておりますが、有償購読は3月号にて休止いたします。長年ご愛読いただき、誠にありがとうございました。

今後は、全老連ホームページから月刊「全老連」をご覧いただきますよう、よろしくお願いいたします。

都道府県・指定都市老連、市区町村老連におかれましては、会議やセミナーの機会に、コピーして配布していただければ幸いです。

編集後記

立春の前後になると道端の草地にオオイヌノフグリが^{むら}叢がるようにして空色の小花を開きます。目を近づけてよく見ると、青と白のコントラストが美しい可憐な花です。このオオイヌノフグリ、漢字では「大犬の陰囊」と書きます。その実の形が犬の陰囊に似るのがその

名の由来だといいますが、その花には余りにも似つかわしくない無粋な名。「春告鳥」^{はるつげどり}がウグイスの、「春告魚」がニシンの異称なら、この野草には「春告草」と名付けたい。因みにオオイヌノフグリはヨーロッパの原産で、明治初年に日本に渡来したそうです。(博)



全老連

第461号

- 平成31年3月10日発行(毎月1回10日発行) ●昭和63年2月8日第三種郵便物認可
- 編集人/加藤博康 ●発行人/齊藤秀樹 ●発行所/公益財団法人 全国老人クラブ連合会
- 住所/〒100-8917 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階
- 電話 03-3581-5658(代) FAX 03-3597-9447
- ホームページアドレス <http://www.zenrouren.com/> ●E-mail zenrou@zenrouren.com
- 定価 250円(購読料は会費に含む) ●編集協力 株式会社 凱風企画